

発行:岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103
TEL/FAX;03-3247-8660 E-Mail;ikuma@gakushikai.jp
HP;http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています！)

岩田いくま(生真)略歴:昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。平成19年5月より2期目。

趣味:バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。

家族:妻、長男(7歳)、長女(5歳)、次男(2歳)。

地域医療の充実に向けて

～ 調査検討委員会最終報告がまとまりました ～

杉並区における地域医療体制の充実に向けて、外部の専門家による調査検討委員会が昨年夏に立ちあげられました。

その最終報告が公表されましたので、要点を皆様にご報告いたします。

現状と課題

区内には17の病院があるが、大規模な病院は乏しく、特に救命救急センターや、がん医療・周産期医療(*)の専門医療機関はない。

(*)周産期(妊娠満22週から生後7日未満)を含めた前後の期間における医療

救急車で搬送される大多数(約93%)は二次救急医療機関(*)に搬送されるが、その約6割は区外の医療機関に搬送されている。

(*)24時間体制で緊急に入院治療を必要とする重症患者の医療を行う医療機関

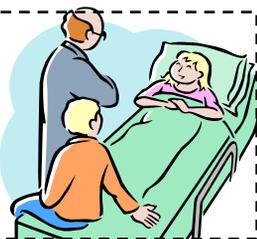
今後は高齢者人口が増加し(65歳以上人口は、平成21年で約102,000人だが、平成47年には約168,000人と見込まれている)、高齢者の医療需要が増大する。

杉並・世田谷・練馬の三区を南北軸の一圏域とみた場合、人口200万人を超える地域に救命救急センターやがん診療連携拠点病院は1施設も存在していない。

提言

専門医療機能等の充実

既存病院の機能強化や新規病院の開設に向けた支援策等を講じていくことが必要。



救急医療対応力の強化

二次救急を担う病院数の増加、あるいは区内で受け入れ可能な患者総数を増加することが必須。

区としてそのための方策を検討していくことが必要。

高齢者医療の充実

在宅医療の重要性が増大。介護サービスとの連携等チーム医療体制の構築、在宅療養生活を円滑に行えるための相談窓口の設置は、区が早急に取り組むべき重要課題。

東京都への働きかけ

医療資源の偏在を解消しようとする自治体や医療機関の取組みを支援するよう、都に対して積極的に働きかけるべき。

今後、この報告を受けて、区が具体策を検討していくこととなります。

区民の安全・安心にとって非常に重要な地域医療体制の充実に向けて、議員の立場から施策をチェック・提言していきたいと思っております。

有志議員での視察

5月19日、有志議員で東京ガスの「防災」及び「環境」施設を視察しました。

午前中は、防災対策拠点である「供給司令センター」及び「保安司令センター」を見学。公益企業として、地震被害を最小限に抑える「**予防**」対策、二次災害を防ぐ「**緊急**」対策、早期に供給再開するための「**復旧**」対策について、説明していただきました。

午後は、環境に配慮した高機能・高効率のガス利用技術及びサービスを開発している千住テクノステーションを見学。

環境に配慮した仕組みが満載の「暮・楽・創ハウス」(写真右上)を見学し、家庭用燃料電池コージェネレーションシステムである「エネファーム」(写真右下)の仕組みも説明をいただきました。

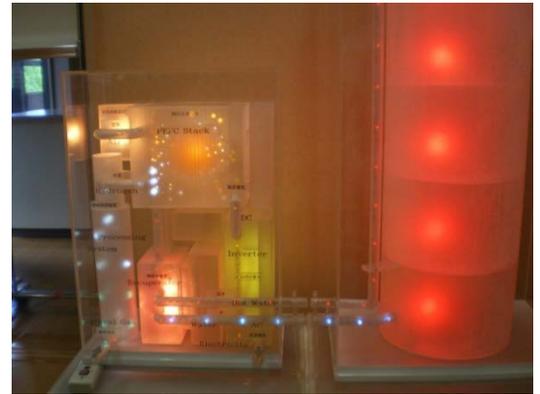
また、燃料電池自動車に水素を供給する「水素ステーション」も見学し、燃料電池自動車の試乗もさせていただきました。

防災・環境とも自治体が担うべき大切な分野ですが、自治体だけで対応できるものではありません。

民間企業の取り組みを教えていただいた今回の視察は、自治体が担うべき役割を考えるうえでも非常に役に立ちました。



(写真上)暮・楽・創ハウス
(写真下)エネファームの説明用器具



災害対策特別委員会での視察

3月23日、委員会として国営東京臨海広域防災公園を視察しました。

ここは、基幹的広域防災拠点であり、都道府県単独では対応不可能な、広域・甚大な被害に対し、国及び地方公共団体が協力して応急復旧活動を展開するための防災拠点となっています。

当日は本部会議室やオペレーションルームも見学させていただきました。

区の防災センターとは規模が異なりますが、国レベルの防災対策を実感した視察でした。



講演会

①4月11日、地域主権型道州制フォーラムに参加しました。

住民自治を充実し、行政の無駄(都と区での業務の重複等)をなくしていくことは重要です。

道州制の導入も、こうした視点から賛成です。

②5月18日には、杉並区災害医療運営連絡会の一環として、講演会「災害医療にかかる医療体制の充実に向けた取り組み」(講師:原口義座氏)が開催されました。



災害時という制約された条件下で、一人でも多くの命を救うためには、区民にもトリアージ(*)を理解してもらう必要を改めて実感しました。

(*)傷病の緊急度や重症度を判定して、治療や後方搬送の優先順位を決めること

新会派「新しい杉並」を結成しました

7月21日

私が杉並区議会に議席をいただいてから、7年が経ちました。

その間、一定の議会改革は進んできました。(例:費用弁償の廃止、政務調査費の使途基準明確化及び領収書等の添付、土曜議会の開催、本会議のインターネット中継、広報への質問者の表示 等)

しかしながら、その改革のスピードは非常に遅いと言わざるをえません。また、地方自治体は国の議院内閣制とは異なり、区長と議員をそれぞれ選ぶ「二元代表制」であることから、地方議員に求められるのは、議会としての意思形成に資することであるはずです。

こうしたことから、議会改革を推進し、議会としての意思形成を積極的かつ迅速に図っていくために、方向性を同じくする議員が政党の枠組みを超えて新会派を結成することになりました(杉並自民議員倶楽部から8名、民主党杉並区議団から6名、私が所属する区政杉並クラブから3名の計17名)。

新会派では、

●重要な行政計画を議会の議決事項とする条例の制定 ●事業仕分け ●通年議会の実施等に取り組んでいく予定です。

なお、私自身は新会派において、政策調査担当の副幹事長をつとめることになりました。

新しい区長が誕生しました

7月12日

～ 山田区長辞任、新区長は田中良氏 ～

5月25日、山田宏区長が議長に辞職願いを提出し、5月31日の臨時議会で区長辞職が同意されました。

その後、7月11日に投票が行われた区長選挙の結果、田中良氏が新しい杉並区長に選出されました。

区長の交代は11年ぶりとなります。

行政側は新しい体制となりますが、私自身は議会の一員として、より良い杉並区となるよう、残る半年強の任期をしっかりと取り組んでいきたいと思えます。



(山田宏区長の辞任に対し、議場で行った意見開陳の様子)

山田区政を振り返って



山田宏氏の区長在任11年1カ月のうち、私は2期目以降の7年1カ月を、皆様のおかげで議員として区政に携わらせていただきました。

議員1年目にいきなり住基ネット訴訟の問題があり、所属委員会で「可否同数」を経験しました。

そして、区長在任中最後の定例議会となった今年の第1回定例会では、減税基金条例に対して議会が修正案を提出しました(私自身、提案者として名を連ね、他の議員からの質疑に対し、答弁も行いました)。

山田区長が行った個々の施策に対しては賛否もあろうかと思いますが、行財政改革をしっかりと行い、杉並区財政を建て直したことは、素直に評価すべきと考えます。

また、先述の住基ネット訴訟や減税基金条例に限らず、常に新しい問題提起があり、区政のあるべき姿について議員として多くのことを考える機会を得ました。

任期途中での辞職については残念な想いであるのが正直なところですが、財政健全化路線を始め、山田区政のよいところは今後もしっかりと引き継いでいけるよう、議員として取り組んでいきたいと思えます。

所属委員会等が変わりました

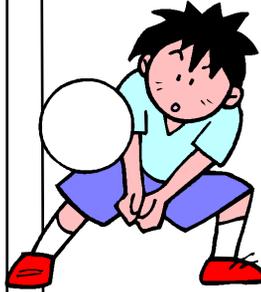
5月31日の臨時議会を機に、今年度の所属委員会等が変更となりました。

- 総務財政委員会(5回目)
- 災害対策特別委員会(3回目)
- 議会運営委員会(4年連続4回目)
- 情報公開・個人情報保護審議会(5回目)
- 杉並区防災会議(初めて)

災害対策特別委員会では、副委員長をつとめることになりました。

任期最終年となりますので、新たな活動の場でも、積極的に取り組んでいきたいと思ひます。

スペシャルオリンピックス



6月20日、東京都障害者スポーツセンター等でスペシャルオリンピックス^(*)日本・東京の夏季地区大会が行われました。私も、バレーボールの主任コーチですので、競技役員として参加しました。

バレーボールの会場は、陸上自衛隊十条駐屯地の体育館。

当日は、アスリート^(*)、普段の練習から参加しているファミリー及びボランティアの他に、杉並区の中学生、陸上自衛隊の方々、スポーツ用品メーカーの方々がボランティアとして参加くださいました。

採点競技を通じてアスリートの成長ぶりを改めて確認するとともに、多くの参加者と楽しい交流を深められた一日でした。

(*)知的発達障害のある人たち(アスリート)に様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織

2010年第11回 スペシャルオリンピックス日本・東京 夏季地区大会

6月20日 ☉ バスケットボール・水泳競技・陸上競技・サッカー・卓球
テニス・バドミントン・バレーボール・機能開発(MDP)・体操競技

6月26日 ☼ ボウリング



バレーボール 競技役員 岩田 生真 井野口 伸子

＜キリトリ＞線

＜キリトリ＞線

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。

お名前:

ご住所:

TEL:

E-Mail:

質問・ご意見・ご要望:

FAX:03-3247-8660

E-Mail: ikuma@gakushikai.jp

FAX: